

印西大師 番外 鎌苅・不動堂

1 名称 (No.254)〔資料館：不動堂〕〔行程表：不動堂〕

2 場所 印西市鎌苅1208-1付近

瀬戸・徳性院から道程約2,660m (一本松機場経由)

瀬戸・徳性院から道程約4,190m (印旛支所経由)

GPS座標 35.772130574311426, 140.19527553602367

3 由緒 曹洞宗

鎌苅にあり 曹洞宗にして大雄山東祥寺持 字瀧尻一千百九十八番地の一に位置す 大日大聖不動明王を本尊とす 東祥寺焼失以来其の詳細を知悉するを得ざれども当不動尊は大永年間東祥寺開山了山分暁和尚

同寺開創の際携護し玉へる尊像にして 方丈に安置せられしものなりと沿革衆民屢々尊像の不可思議なる効験あるに 信仰し享保二丁酉年小川與右衛門自ら瀧尻の地を喜捨し浄資を抛ちて九尺四面の堂宇を創立して之が開基となる 爾来星霜を逐ふて信徒を増加し随ひて 明治の初年方二間の本堂に改築し及び 庫裏等の新設あり 會て古老の口碑に 依れば御開山身代りの不動尊なりと云り 檀徒500人 (印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体あり。

5 境内 大師堂のほか鎌苅不動堂がある。春は新緑、秋は銀杏と楓の紅葉がきれい。

6 写真 (2020.11、2023.05撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



不動堂



御大師様



銀杏の黄葉